

神戸市は2016年度、観光客でにぎわったかつての六甲・摩耶エリアの姿を取り戻そうと、同市灘区の市街地と摩耶山を結ぶ「まやビューライン」と、六甲山頂―有馬温泉間の「六甲有馬ロープウェイ」を無料化する社会実験に乗り出す。新たに祝日となる「山の日」(8月11日)近くの数日から1週間程度を想定。集客効果を探り、初めての人にも乗ってもらおうことで、活性化のきっかけをつかみたい考えだ。(紺野大樹)



六甲摩耶

にぎわい復活へ社会実験

無料で登って



ケーブル



ロープウェイ

8月の数日間集客効果探る 神戸市

今年で国立公園編入 関西屈指の避暑地とし 保養所や研修施設がバ
60周年の同エリアは、て知られるが、企業のブル崩壊後の合理化で

次々と閉鎖された。同市によると、1992年のピーク時には年間837万人に上った観光客は、数え方を厳密にした影響もあるが、2014年は194万人にとどまる。こうした状況を踏まえ、ケーブルとロープ

- ①まやビューラインのケーブルカー
- ②雄大な景色が楽しめる六甲有馬ロープウェイ

同市は「六甲山、摩耶山は重要な観光資源。多様な手段で全体の活性化を進めたい」とする。

六甲山上では保養所や別荘などの現況を調べ、遊休施設を再活用する事業に着手。兵庫県とも連携を進める。

ウエーでつなぐ、まやビューライン(往復大人1540円、子ども770円)▽六甲有馬ロープウェイ(同大人1820円、子ども10円)―を一定期間無料にする方針を決めた。